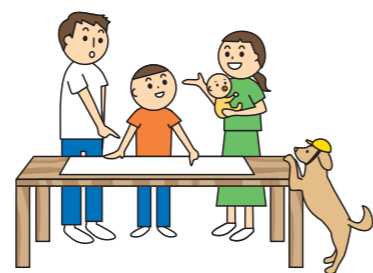




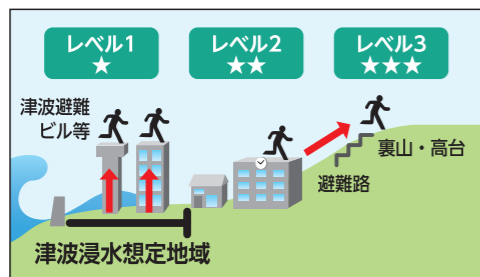
じじよ 自助



災害が起こったときは、一人ひとりが「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自分や家族の安全を守り、被害を最小限にするよう行動することが重要です。

- ③ 率先避難者になれ
- ② 最善を尽くせ
- ① 想定にとらわれない

津波避難3原則



地震・津波 浸水想定を確認!

避難場所 安全レベルを確認!

地震・津波の場合

屋内で地震に遭った際は、慌てて外に出ず、まず、身を守る行動を取りましょう。揺れが収まったら、時間が許す限り、より安全な避難場所をめざして避難してください。

県では、避難場所ごとに安全レベルを設定しています。予めどこに避難するかを確認しておくことがスムーズな避難に繋がります。

早めの避難行動を心がける

風水害の場合

市町村が発令する避難情報を注意して聞き、適切な避難行動を取ってください。避難情報が出ない場合でも、早めの避難準備や、危険を感じたら自主避難することも重要です。

警戒レベル	避難情報等
5 災害発生または切迫	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難しましょう!	
4 災害のおそれ高い	避難指示
3 災害のおそれあり	高齢者等避難
2 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報
1 今後気象情報悪化のおそれ	早期注意報

身を守る3つのポイント

① 普段からの心構え

お住まいの地域の土砂災害危険箇所を確認
わかやま土砂災害マップ



② 雨が降り始めたら

雨量の情報や土砂災害警戒情報に注意



③ 豪雨になる前に

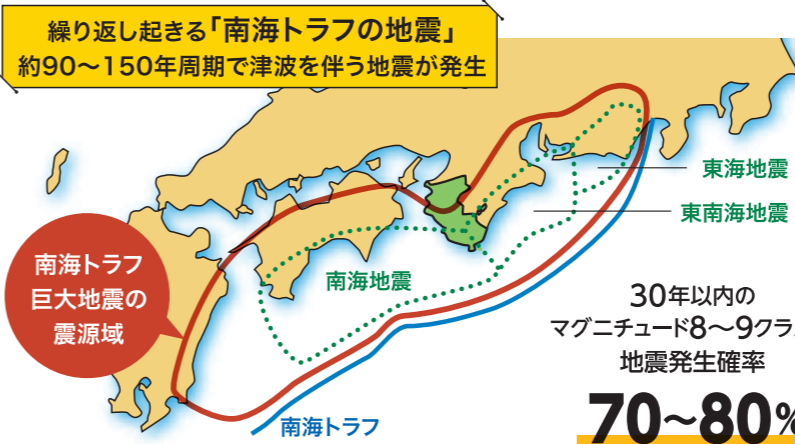
大雨時や土砂災害警戒情報発表時は早めに避難
夜間に大雨が予想される時は暗くなる前に避難



県政最前線 みんなで高める 防災力!

県庁危機管理・消防課 ☎073-441-2260
県庁防災企画課 ☎073-441-2271

和歌山県が位置する紀伊半島は、巨大地震の震源域とされる南海トラフに近く、地震発生から津波到達までの時間がとても短いという特性があり、過去にも津波を伴う地震で大きな被害を受けてきました。今後数十年以内にもマグニチュード8〜9クラスの巨大な地震が発生すると予想されており、いつか必ず起こる大規模災害に備えることは非常に重要です。また、地震・津波だけでなく、毎年発生する台風や大雨は、時に甚大な被害をもたらします。今回は、防災対策で重要な3つの要素「自助」「共助」「公助」について紹介します。いざというときに自分や大切な人の命を守るため、今一度災害への備えを確認していきましょう。



県内の被害想定

出典:和歌山県「地震被害想定調査」(H26年度)

	南海トラフ巨大地震	東海・東南海・南海3連動地震
死者・負傷者	13万人	3万8千人
避難者	44万人	28万人
医療機能	2万病床が不足	6千病床が不足

全国で自然災害が多発

出典:気象庁「地震・火山月報(防災編)」[台風の発生数]国土交通省 報道発表資料

	2019年	2020年	2021年
地震	1,564回	1,714回	2,424回
台風	29個	23個	22個
土砂災害	1,996件	1,319件	972件

活用しよう!

和歌山県防災ナビ

避難や日頃の備えに役立つ機能を備えたスマートフォン向けアプリを提供しています。



詳細やダウンロードはこちらから

【主な機能】

- ・近くの避難場所や安全レベルの検索
- ・防災情報のお知らせ
- ・家族などの居場所確認
- ・避難トレーニング
- ・河川水位や土砂災害危険度情報の確認

SNS・メール

ツイッターアカウント「防災わかやま」や登録メールアドレスへの「防災わかやまメール」配信サービスにて災害関連情報の発信を行っています。

